

東海道五十三次と富嶽三十六景展



広重

ニカ・シロコラッド(ロシア)ピアノリサイタル
~21世紀の逸材、日本デビュー

日時: 4月16日(日) 13:30~14:30

会場: 東京富士美術館 ロビー

出演: ニカ・シロコラッド(ピアノ)

内容: プーシキン美術館等に作品が所蔵されている「注目の女流画家」にして「東ヨーロッパが誇る秘蔵のピアニスト」がついに日本デビュー。透明な情感と驚異の技巧で、世界最難曲とされる「イングリッシュ・カントリー・チューンズ」はじめ「熱情」「幻想曲」「リゴレット」、そして彼女自身が描く「幻想の絵画」も同時初公開!!ご期待ください!!

曲目: ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ第23番「熱情」
ショパン/幻想曲 作品49
フィニッシー/イングリッシュ・カントリー・チューンズより
リスト/歌劇「リゴレット」による演奏会用パラフレーズ ほか

「エキゾチックな花」



「菊」

ニカ・シロコラッド(ピアノ)
Nika Shirocorad

1979年サンクトペテルブルク生まれ。両親はモルドバ出身の著名な画家であった。5歳で第1回モスクワ世界子ども芸術博覧会作品招待、85年モルドバ作曲家組合ディプロマ獲得。

95年エフゲニ・コク国際第1位、ソレアルティンスキー国際第1位、97年ウクライナ国際第2位各ピアノ・コンクール受賞。モルドバ国立音楽院でピアノと作曲、モスクワ国立スリコフ芸術大学でデザインと絵画を学び、03年英国セントポール・ホールのコンサートに出演して衝撃的な西ヨーロッパ・デビューを飾る。

現在パリでジャック・ルヴィエに師事するかたわら、ブカレスト国際現代音楽週間、バカウ現代音楽祭等でも活躍。

画家としても高い評価を誇り、プーシキン美術館、ロシア国立アカデミー美術館はじめ多くの美術館、コレクターが作品を収蔵している。

世界最難曲とされる「イングリッシュ・カントリー・チューンズ」を舞台上で完全に演奏出来る希少なピアニストで、恐るべきテクニックと透明な音色、叙情性のバランスは、師ルヴィエをして驚嘆させた21世紀の逸材である。



「白いフリージア」

「誕生日のチューリップ」